

(一社) 山梨県サッカー協会 4 種委員会 議事録
第 2 回理事会

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

令和 3 年 7 月 1 6 日 (金) 1 9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0

〈場所〉

(一社) 山梨県サッカー協会 2 階 会議室

〈出席者〉

◇石原幸周委員長 (甲府) ◇福田和久副委員長 (峡北) ◇鈴木和幸理事 (甲府) ・ 広報部長 ◇戸田昭人理事 (峡中) ◇望月一徳理事 (峡中) ◇廣瀬幸司理事 (峡東) ◇野口徹理事 (郡東) ・ フットサル部長 ◇高根啓介理事 (郡南) 中込和義理事 (峡中) ◇近藤暁理事 (郡南) ◇窪田圭司理事 (峡北) ◇三科健二郎事業運営部長 ◇溝呂木勉審判部長 ◇神取一弘技術委員長 ◇横森潔キッズ部長 ◇清水たけみ女子委員長

〈議事〉

司会：福田副委員長 (峡北)

付議事項

1. 委員長挨拶

2. 報告事項

① 専門部報告

事業運営部

審判部

技術部

広報部

キッズ部

フットサル部

② 関東委員会会議(6 月 26 日開催)報告

■ マッチウェルフェアオフィサーの設置について

■ 一人審判制について

■ 関東 4 種事業の名称変更について

■ 2022 年度以降の関東大会の開催地及び開催形態について

■ 関東 4 種事業の各都県持ち回りについて

■ 関東 M-T-M 交流戦について

3. 協議事項

- ①2021 年度評議員会について
- ②nanaho cup 大会総括について（担当：峡中）
- ③第 11 回北関東U-12 サッカー大会について
- ④第 45 回関東U-12 サッカー大会について
- ⑤規約・規程集の改版について
- ⑥ウエルフェアオフィサー推進事業について
- ⑦山梨県U-10 選抜サッカー大会について（担当：郡南）
- ⑧JA 全農杯小学生選抜サッカー山梨県予選について（担当：峡北）
- ⑨第 2 回山梨県U-12 女子サッカー大会について（担当：清水）
- ⑩内藤ハウスカップU-10 サッカー大会について（担当：甲府）
- ⑪JFA 全日本U-12 サッカー選手権山梨県大会について（担当：甲府）
- ⑫その他

議事経過

1. 委員長挨拶

ナナホカップに関しては、何事もなく無事に終わって良かった。

梅雨が明けて突然猛暑となってくることが予想され、これまでの新型コロナウイルス対策とともに、熱中症対策に関しても実施を行うようお願いしたい。

2. 報告事項

①専門部報告

□事業運営部

なし

□審判部

なし

□技術部

関東 MTM が 7/31 と 8/1 に開催される。今年度は日帰りで 2 グループに分ける。

7 月 24 日に男子 AB と U スポーツ U13 でテストマッチ予定。

□キッズ部

U8 のフェスティバルを 7/25 に開催予定（クラブユースの前座予定）

直近のキッズ事業は延期、9 月 5 日の郡東地区が最初の開催予定。

□フットサル部

バーモント予選終了。優勝チームはヒュンフ。

□広報部

なし

②関東委員会会議(6月26日開催)報告

■マッチウエルフェアオフィサーの設置について

協議会や試合においてリスペクトやフェアプレイを啓発、促進するとともに、暴力、差別等の予防活動を通じて、問題の顕在化を未然に防ぐ、また、顕在化した諸問題に対応、問題解決を図ることを目的に一部の関東4種事業(JA全農杯・関東大会)に、MWFOの設置を義務付けたい。

■一人審判制について

現在の8人制の試合において、一人審判制で実施されていることが多いと思います。しかし、関東FA事業の「JA全農杯関東」は全国大会につながる大会、また「関東大会」も攻守の切り替えが速いレベルの高い試合が多い中で、「審判に対する必要以上の講義」等、現状多くみられることを顧み、3人制審判にすることにより誤審が少しでも減る試合をすることにより拮抗したゲームをコントロールできるようすることが重要ではないかと思ひ、上記2大会において「3人制審判」への変更を考えたい。

■関東4種事業の名称変更について

今年度より、『少年』を『U-12』に変更する。

■2022年度以降の関東大会の開催地及び開催形態について

表記大会の日程及び開催地の調整を行ってききましたが、JFAの推奨する7~8月のサマーブレイクの導入や、熱中症対策の徹底等、7~8月以降の日程調整は無理と判断し、下記日程及び場所での開催を提案します。

【開催地】くぬぎ平スポーツ公園人工芝運動場

【日 程】8月の最終土日(2022年度は8月27日~28日)

<開催にあたっての形態>

山梨FAにおいて毎年主幹FAとして事業開催は困難な状況であることから、主幹FAは持ち回りとし、1都7県の協力体制を確立し運営していく。

ただし、2022年度は初めての開催であることから、山梨FAが主管し運営する。

■関東4種事業の各都県持ち回りについて

JFA ガールズ・ゲーム(普及を目的とした大会) 2021年度は千葉開催

JFA ガールズ・エイト(強化を目的とした大会) 2021年度は茨城開催

■関東M-T-M交流戦について

2025年度までは群馬開催とする。

2021年度はコロナ渦、および東京都が緊急事態宣言発令中の為に

・東京都は参加しない。

・関東7県のみとし、地域外のチームはよばない。

■関東大会・北関東大会

1都7県で緊急事態宣言発令中の場合でも出場チームに関してはチーム一任開催地で緊急事態宣言が発令された場合には中止となる。

3. 協議事項

①2021 年度評議員会について

期日：2021年9月11日(土)午後2時～(役員午後1時集合)

場所：韮崎文化ホール

- ・2021年度前期事業報告及び後期事業確認 他
- ・JA全農杯小学生選抜サッカー大会山梨県予選「抽選会」
- ・JFA全日本U-12サッカー選手権山梨県大会「抽選会」
- ・内藤ハウスカップU-10サッカー大会「抽選会」
- ・その他

②nanaho cup 大会総括について(担当：峡中)

今年度はチャレンジトーナメントを行ったために、トーナメント初日の会場運営に支障があった。⇒来年は開催日を変更するなど要検討

最終日において時間的な問題もあり、急遽レギュレーションを変更し同店の場合には延長戦を行わずにPK戦を行った。(試合前に決定)

チャレンジトーナメントに関しては、初めてということもあり細かいレギュレーションが不明確なところもあり若干の混乱があった。

最終日の審判部の負荷が重くなっている。今回の大会では、5位、7位決定戦において副審を帯同チームにお願いした。

③第11回北関東U-12サッカー大会について

ナナホカップ4～8位の5チームが出場

④第45回関東U-12サッカー大会について

ナナホカップ1～3位の3チームが出場

⑤規約・規程集の改版について

改版資料の確認を行い次回の理事会までに修正を行う。

⑥ウエルフェアオフィサー推進事業について

ナナホカップにて、ウエルフェアオフィサーの研修を行った。

今後の山梨4種主幹の大会では積極的に導入し、より良いサッカー環境を築いていきたい。

⑦山梨県U-10選抜サッカー大会について(担当：郡南)

メンバーチェックが10分前だと厳しい → 要項の再確認

各地区の参加チーム数の確認を行う → 8チーム開催にこだわらない

⑧JA全農杯小学生選抜サッカー山梨県予選について(担当：峡北)

8月11日までに各地区で集計を行い窪田理事に報告する。

県予選については一人審判制で行う。

- ⑨第 2 回山梨県U-12 女子サッカー大会について（担当：清水）
参加チームはこれから募集する。
- ⑩内藤ハウスカップU-10 サッカー大会について（担当：甲府）
要項の確認
- ⑪JFA 全日本U-12 サッカー選手権山梨県大会について（担当：甲府）
要項の確認
- ⑫全中大会 WFO 派遣依頼について
8 月 19 日、20 日において 4 種委員会より全中大会に派遣を行う。
- ⑬その他
2021 年度ニッサンサッカー教室について
10 月 24 日(日)開催予定（会場未定）

テクニカルエリア内での戦術的指示について
現在のルールを見ると立って指示を出す内容の記述はないが
山梨 4 種委員会としては今後下記を大会要項に記載します。

戦術的指示は、テクニカルエリア内からその都度 1 名の指導者に限り、
立って伝える事ができる。

以上

議事録作成 令和 3 年 9 月 29 日
署名 中込 和義
広報部鈴木和幸